

自然エネルギー信州ネット

2018年度第2回運営会議 議事録

日時：2018年9月29日（土）10：30～12：00

場所：長野市生涯学習センター 第4学習室

長野市大字鶴賀問御所町 1271-3 TOiGO WEST 3F

出席者（敬称略）：

【理事 5名／6人中】

高木直樹 会長

平島安人 理事（議長）

合原亮一 理事

茅野恒秀 理事

小野要 理事

【事務局】

浅輪剛博 事務局長

【会員 10名】

1. 開会

2. 会議事項

（1）議題、資料確認

浅輪事務局長： 配布資料、会議資料 一式 及び 県の資料がありますので、
ご確認ください。

理事総数6名のうち、5名の参加。

理事過半数の参加で規約により当運営委員会は成立しております。

議長を理事の平島さんをお願いいたします。

(2) 議事

●決定事項

1) ソーラーシェアリング事業の展開に関して。

・県内各地のソーラーシェアリング支援事業の具体的枠組みとして、一般社団法人自然エネルギー信州ネットが、系統連系や FIT 申請の代行を含めた支援を行うことを認める。

・認定を得るためには、法人がないと申請ができない。現地の個人・団体などに候補がない場合、実施前に他に移行することを条件として、一社) ネットが一時的に発電事業者として中電申請/資源エネルギー庁申請を行うことを認める。

・リース事業等の枠組みが具体化した時点で、一社) ネットに何らかの事業主体としての機能を持たせる場合には、SPC を設立して倒産隔離をはかる。

2) 専門部会の役員の任期、改選などの方針に関して意見交換。

・専門部会は部会毎の自治を基本とするので、部会長・部会役員の任期や運営手法などについて、信州ネット全体として何らかのルールを決めることは避けたい。

・その一方で信州ネット内の組織であることをふまえ、活動方針・計画は明確にし、その活動内容が会員にも認識・理解できる状況は必要である。

・上記 2) に関して各部会が何をしているのか、何を目指しているのかわかりにくい状況なので、平島が各部会長に働きかけ、今年度内に次の取り組みを行い、その結果が会員にわかるようにする。

・各部会が抱える課題を明確にしたうえで共有し

・部会毎に活動方針・活動形態や必要な活動について検討を進めてもらい

・各部会の今後の活動方針（もしくは存続についての考え）を明確にする

1) ソーラーシェアリング事業の展開に関して意見交換。

参考資料 添付(1)(2)

浅輪：説明します。

営農型太陽光設備の現地運用会社を合同会社などで各地で作る場合、一社)

信州ネットからも出資する案に関して意見交換、決議。

(現地運用会社の目的は、各地域での継続を、現地の有志／協議会と信州ネットの双方で管理することで、現地運用会社の安定を図る。)

(現在までに実施した相談会の状況報告)

各地域での説明会の状況説明(佐久、松本、上田)。

各地の農業関係者、及び金融や行政、地域協議会会員などが参加した。

実行に動き出しつつある案件もあった。

(質疑)

会員：信州ネットのサポートは？

合原：資金調達の手配や発電管理などの支援を信州ネット事業として位置づけたい。

まだ迷っている地域や農業者が多く、規模が見込めるか確定しない場合に **SPC** を設立すると費用が無駄になる場合がある。その場合は一般社団法人信州ネットが一時的に中電申請を行うという形もありでしょうか。実際にリースなどを組む必要が出て来た段階で **SPC** を設立すれば良いのではないか。

平島：決議を取ります。

・県内各地のソーラーシェアリング支援事業の具体的枠組みとして、一般社団法人自然エネルギー信州ネットが、系統連系や **FIT** 申請の代行を含めた支援を行うことを認める。

・認定を得るためには、法人がないと申請ができない。他に候補がない場合、実施前に他に移行することを条件として、(社) ネットが一時的に発電事業者として中電申請／資源エネルギー庁申請を行うことを認める。

・リース事業等の枠組みが具体化した時点で、(社) ネットに何らかの事業主体としての機能を持たせる場合には、**SPC** を設立して倒産隔離をはかる。

(出席議員 5 名全員の賛成により理事決議)

2) 専門部会の役員の任期、改選などの方針に関して意見交換。

参考資料：なし（規約第5条、第8条など）

浅輪：説明します。

自然エネルギー信州ネット規約には、部会長の選出や、任期はなど規定があるわけではないですが、発足以来固定しています。また、バイオマス部会長は退任を希望されています。そこで、各部会、今期中に一度、方針を話し合うのはいかがでしょうか。

事務局としては、会員や外より専門的なアドバイスを求められる場合もあり、その場合の照会先が明快ですと助かります。専門部会の中のその地域の担当がいらっしゃると、そこに連絡して、専門部会の各地域の中でどう対応できるか、検討いただける。

（事務局案：

（地域担当（1年間輪番など）を複数置く。

（部会長を選出するか、副部会長を何人置くか、などは各部会で自由に検討）

平島：各部会で仕切り直しも含めて、独自で検討する必要があるかもしれません。

田中バイオマス部会長：私が部会に入った時には、どの部会を選ぶか、というような時でした。ワークショップを行ったりして、興味を持った部会に入りました。（バイオマス部会）

実際に事業をやっている専門家などが新たな部会長になっていただければと個人的には思っている。

部会長は降りるとしても、個人的に問題意識があり、続けていきたいこともある。

茅野：田中部会長から意向をバイオマス部会に呼びかけるのはどうでしょうか。

合原：できれば今年度内に方針を決めてもらうのがいいかと思います。来年度

の定時総会の議案にもできればと考えています。

太陽光部会で、保守点検、施工事業者、そして発電事業者と3分割にしようかというアイデアもありますが、専門部会の立上げには、運営会議での協議が必要です。

平島：議論を受け、次のように決議を取ります。

確認事項

1) 専門部会は部会毎の自治を基本とするので、部会長・部会役員任期や運営手法などについて、信州ネット全体として何らかのルールを決めることは避けたい。

2) その一方で信州ネット内の組織であることをふまえ、活動方針・計画は明確にし、その活動内容が会員にも認識・理解できる状況は必要である。

3) 上記2)に関して各部会が何をしているのか、何を目指しているのかわかりにくい状況なので、平島が各部会長に働きかけ、今年度内に次の取り組みを行い、その結果が会員にわかるようにする。

- ・各部会が抱える課題を明確にしたうえで共有し
- ・部会毎に活動方針・活動形態や必要な活動について検討を進めてもらい
- ・各部会の今後の活動方針（もしくは存続についての考え）を明確にする

3) その他の活動計画の進捗状況の報告 会員活動の現状と課題の共有 意見交換

参考資料 添付(3)計画進捗(4)会計進捗

浅輪：総会での活動予算計画の現状確認。

予算目標に達するには、会員、さらに20～30ほど必要。

- ・信州ソーラーパトロール（セミナーの開催、検索の充実、認証制度）

参考資料 添付(5)

合原：他の案件もあるが、今年度中に進められればと思っている。

会員（長野県）：必要な講師料やセミナーなどの予算は県でも用意できる。

- ・ SUWACO Labo の確認など

参考資料 なし。

浅輪：ワークショップへの参加を中心としています。

茅野：子どもの体調や、気持ち的にいうと、事前予約はハードルが高い。朝来て、そこで選ぶ、予約する、という方式が良い。

平島：当日先着順が可能なブースはそう表示する。内容上必要なものに限って、事前予約と特記する。

- ・ 信州ネットのパンフレットの更新

浅輪：2013 年以来、大幅な変更がないが、増刷の機会に更新も必要ではと思う。

会員：事務局と理事会でチェックして、改正案を投げるか、プロジェクトチームで検討するのはどうか。

- ・ そのほか、会員からの情報提供など

会員（長野県）

永岡 勝 G20 関係閣僚会合 の説明

神田 大介 屋根ソーラー検討会

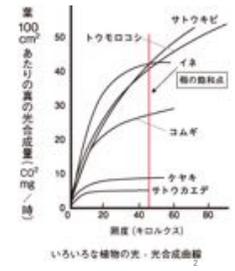
浅輪：上田市でのポートランドの会を 10 月 10 日に行います。

茅野：メガソーラーの問題に関して話し合う機会がある。地域にとって良い形を発信していければ。

【ソーラーシェアリング導入条件】

- ①作物の収量・品質の大幅な低下を招かないことを示す根拠。
- ②農地の占有(一時転用)が発電施設の支柱脚の部分に限られ、必要最低限の面積である。
- ③耕作の大きな障害にならない設置にすること。

※転用期間は3年。ただし年に1回、農作物の収穫量報告などが義務付けられます。また、営農状況によっては再度の一時転用許可が得られません。
(※水稲等の農作物の収穫量報告は、営農継続する太陽光発電設備等に、気象庁の農作物収穫量調査員が実施(15日ごと)。



飯塚・開畑にあるソーラーシェアリング

50Kw11、1000Kw1。今後の計画としては、50Kw20程度、350Kw1、2メガ1。



ソーラーシェアリングのメリット

- ・遊休農地の再生
- ・農業収入に加えて、安定的な発電収入
- ・パネルの下は涼しい猛暑対策
- ・農機具の電化が進む
- ・農水省も推奨

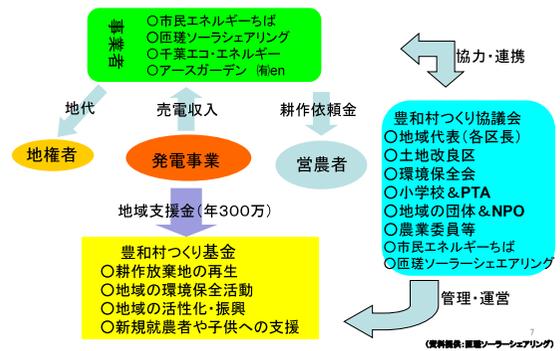
農地の維持と太陽光発電

- ・ 荒廃農地、耕作放棄地、営農継続への不安
- 1) 地目変更による太陽光発電
雑種地へ、あるいは住宅地や商業地等へ。
(固定資産税増加? 農地維持? 人口減少?)
- 2) 農地からの収入を増やす
そのうちのひとつとして「営農型太陽光発電」=ソーラーシェアリング、スマート農業

私たちの取り組みの目的

- ①耕作放棄の解消と農地の保全
- ②農業支援
- ③地域の環境保全
- ④地域の活性化

農業支援と地域づくりの枠組み



千葉県匝瑳市
飯塚開畑地区の現状

30年前に山を削り農地開発
総面積は約80haで7割が畑

(資料提供: 飯塚ソーラーシェアリング)

出力:1000Kw 設置面積(畑):32,000㎡ 340世帯分の電力を賅える

(資料提供: 飯塚ソーラーシェアリング)

標準的な農地の発電量

例) 1反: 60kW
×年間発電量 1,350kWh/kW
×買取単価18円
(20年固定税抜)
=約145万円/1年

×20年=2,900万円 の売電収入

○自己資金で設置される場合

- 20年間で初期費用の約同額の 売電収入が期待できます
- 維持管理は自己責任、自己負担 になります
- 固定資産税、所得税、保険料等 が必要です
- 営農の継続が必要です
(集落営農、共同営農、農業法人化など)

20年営農続ける？

- いずれの場合にも営農の継続が必要ですが、その方法は**集落営農、共同営農、耕作委託**なども可能です。
- 地域でまとまってソーラーシェアリングを実施する場合には、ソーラーシェアリングに参加する方々で**営農組合をつくる例**なども出てきています(青森県十和田地方)。
- 法人化して人を雇用する場合にも、**20年間固定の売電収入**があることは、有利な面もあると思われます。

「おいしい話」ではないが 「損はしない」話である

- 支出: 60kWとして、初期費用 1,500万円～
- 毎年費用: 保守点検費用、電気使用料、固定資産税など 10~20万円
- 単純計算 **収益** 2,900万円-[1,500万円+400万円]=**1,100万円**
毎年 55万円

○融資を受けられる場合

- 個別審査になりますが、15年融資 を受けることができます 初期費用の6-7割の収入が期待できます
- 維持管理は自己責任、自己負担 になります
- 固定資産税、所得税、保険料等 が必要です
- 営農の継続が必要です
(集落営農、共同営農、農業法人化など)

ほんとに育つ？ 農作業がしにくい？

「農業と両立できるのか？」

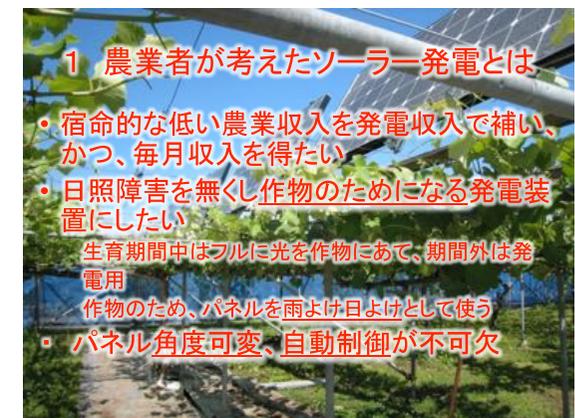
- 須坂市のぶどう園の例
- 千葉匝瑳市の大豆などの畑の例
- 上田市の稲田の例

考えられるリスク

- 初期費用ゼロ円で？
- 20年営農続ける？
- ほんとに育つ？
- 農作業がしにくい？
- 手続き大変？

○自己資金(初期費用)ゼロで 参加される場合

- 現在農地から得ている収入と ほぼ同額の収入が期待できます (水稻の場合)
- 維持管理費用の負担もありません
- 追加費用はありません
- 地上権設定の登記をお願いします
- 営農の継続が必要です
(集落営農、共同営農、農業法人化など)



スマートアグリソーラーパネル角度の三形態



生育期間中はパネルを立てる(太陽光入射角と平行)



夜間、降雨時、強風時は、パネルを水平に



生育期間外はフル発電角度に

18

6 可能性試験結果の要約

- ア 糖度、酸度、食味、果皮色及び出荷時の等級、1房重等においてパネル有無による有意差はなかった 但し、ナガノパープルについて、パネルの用い方により品質向上の可能性が示唆された
- イ 雹害防止効果、長雨による品質劣化防止効果が確認された
- ウ ソーラー回転駆動機構、支柱等の設計に必要な知見が得られた
- エ 突風、積雪等に対しパネル自体の損傷を回避する自己防御機能が知見された
- オ 屋根置き型の90%程度の発電が確認された
- カ 改善課題
 - ・角度制御機構等の改善による高コスト対策
 - ・発電量が固定式に比し若干低いことのデメリット対策
 - ・ぶどう品質・収量の安定向上と発電量向上のための最適パネル制御技術の確立
 - ・気象災害回避のための機構技術の改善

19

千葉匠瑛市の大豆などの畑の例 農作業や収穫には問題なし



(資料提供: 匠瑛ソーラーシェアリング)

農業機械も使え農作業も支障なし！



大豆の播種作業

(資料提供: 匠瑛ソーラーシェアリング)

21

大豆の刈り取り作業



大豆の中耕作業

(資料提供: 匠瑛ソーラーシェアリング)

22

・上田市の稻田の例

(5)いつまでに、何をすればよいのか

- 1) 周りに相談する → とりあえず権利を確保するなら
- 2) 今年の18円/kWhの権利を確保する
 - (2-1) 中電への申請(10月半ば)
 - (2-2) エネ庁への申請(12月初め)
 ※ここまでやって、3年以内に設置すればよいので、事情で設置をとりやめることもOK。まずは、発電の申請から初めて、ゆっくり考えることもできます。
- 3) 設置に向けて、資金調達方法の検討(リースor 融資・自己資金)
- 4) 農業委員会へ一部転用の手続き
- 5) 設置(2022年3月までに発電)

24

その他

- 農業委員会の認可を受けるには土地登記が実際の所有者になっている必要があります
- 毎年収量の報告が必要です。
- 地主と耕作者が違って問題ありません。
- 申請すると中部電力に負担金の納付が必要ですが設置しない場合戻ってきます。自己資金ゼロの場合はこの負担もありません。

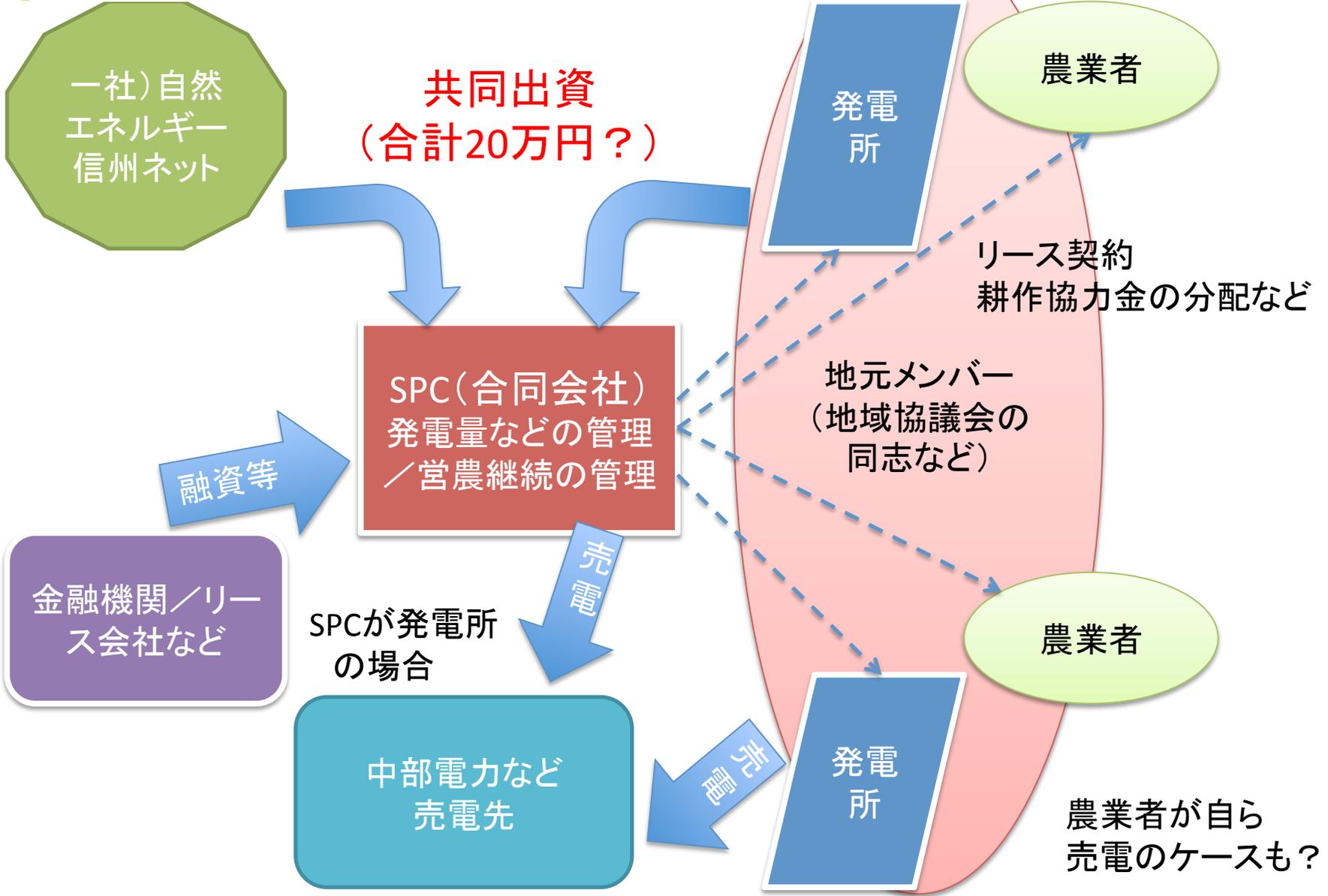
25

お問い合わせ

- 一般的な問い合わせ:
自然エネルギー信州ネット staff@shin-ene.net
TEL 026-217-6450(月&木) FAX 026-217-6450
携帯 090-9965-2374(アサワ)
- 事業申請を決めたら: ソーラーシェアリングの実施経験や知見がある信州ネット会員企業を紹介します。
例) 株式会社ガリレオ、鈴与マタイ株式会社、株式会社シバクサ電器、ほか。

26

自然エネルギー信州ネット



自然エネルギー信州ネット 2018年度活動計画

資料3

I 2018年度の活動方針

「計画する」「伝える」「育てる」をモットーに成果の出る活動を、効率的に行う。

- 1)新規プロジェクト(白書、クラスター、人材育成、信州ソーラーパトロールなど)を執行しながら、実際の成果を得る。
- 2)専門部会の活動をテーマ達成型の活動へと軸足を移し、活動の活性化をはかる。
- 3)創エネと共に省エネ・建物断熱化をめざし、総合的な自然エネルギーまちづくりの事業に関わる。
- 4)会員参加によって信州ネットの活動を活性化させるしかけや仕組みを取り入れる。

活動結果

II 活動計画 及び報告

大項目	目的・ねらい	内容	施策	担当	活動結果
1 専門部会活動の推進	全県共通テーマを中心に、専門性のある調査、研究、企画	5専門部会により、専門性のあるテーマを設定し、会員への活動成果提供を進める	各専門部会が策定する活動計画による		(事務局案：地域担当(1年間輪番など)を複数置く。(部会長は各部会で自由に検討)
		・太陽光部会	・信州ソーラーパトロール(O&M)の拡大 ・2019年問題セミナー ・PV大量導入の対応セミナー ・ソーラーシェアリング普及セミナー	中村 嘉寿良氏	信州ソーラーパトロール検索サイトの充実に向けて検討中 ソーラーシェアリング普及セミナーの実施：詳細下記 信州屋根ソーラー普及検討会への参加(9/18)
		・小水力部会	小水力発電の県内新規事業の研究/視察(完成する発電所への、完成するまでの問題点など調査する)	丸山 幹夫氏	白馬の小水力キャラバン隊への参加提案 伊奈エコツアアへの参加提案
		・バイオマス部会	・林業と連携したバイオマス事業などのセミナーの開催	田中守氏	伊奈エコツアアへの参加提案
		・グリーン熱部会	・太陽熱、地中熱、地域熱供給、PVからヒートポンプなど最新事業の情報収集とセミナー ・ZEH導入、エコ建築専門委員会の立ち上げ	中村 嘉寿良氏	信州屋根ソーラー普及検討会への参加(9/18)
		・政策調査部会	・政策調査部会の体制見直し 部会員を確定し部会運営の役割分担を明確にする ・各専門部会、地域協議会から課題、対案、提言などのヒアリングをして意見書をまとめる	平島	県内の支障事例を会員にアンケートをし、信州ネットとして提言した。(7/9)
2 プロジェクトチームの創設と活動	地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及	信州ネットのプロジェクトチームとして創設			
		・「信州自然エネルギー白書」事業	・印刷・配布・報告交流会	茅野	
		・「自然エネルギー産業クラスター」形成の研究	長野県の研究会に継続参加。 独自のクラスター戦略を持つ	平島	太陽光O&Mネットワーク化の現状報告(6/14)
	自然エネルギーを活用した 持続可能な地域づくり	・事業化支援事業(鬼無里)	・鬼無里「あるをつくる」事業化支援 地域で薪を集める仕組みづくり		脱炭素農村研究会視察受け入れ(9/11)他、継続中
		・人材育成事業	独自の人材育成事業の立ち上げ 「計画する」「伝える」「育てる」		「信州環境カレッジ」の紹介
		・太陽光O&M(信州ソーラーパトロール)の認定事業	認定の基準や体制を構築し、認定を開始する。	合原、小野	検索サイトの向上へ向けたいの検討、認証制度、スキルアップセミナーの開催予定、2019年とPV長期継続セミナー予定
		・ソーラーシェアリング支援事業	長野県内でソーラーシェアリング事業を営農中心で行うことを支援する。新しい資金調達の方法の紹介なども検討。	合原	ソーラーシェアリング普及セミナーの実施(長野市、上田市、松本市、佐久市、予定：中野市、諏訪市、飯田市)
	会員の主体的な参加による事業推進	プロジェクトチーム提案に対するの支援・協力	・事業化支援を行う人材(会員)のチームアップ 広報支援、専門部会による支援、事業化支援 プロジェクトによる支援など。専門部会と共同して実施		
		・省エネプロジェクト	エコ建築専門部会など検討する。		木質外被研究開発プラットフォームシンポジウム 2018 -地域木材イノベーションが開く未来社会：後援
		・市民共同発電全国フォーラム実行委員(10/5~7)	飯田市にて10回目の開催。会長が実行委員長、団体としても実行委員に参加。	高木	高木会長実行委員長、基調講演：茅野理事、報告：浅輪事務局長
		・パタゴニアとの連携協力プロジェクト	地域からのエネルギーシフトの活動を支えるプロジェクト	田村	ツール会議への参加。(6/30) 白馬での関係者との作戦打合せ実行。(9/5)
3 地域協議会との連携強化	地域協議会の活動成果を他地域に波及させる	地域協議会との連携強化	SUWACO Labo事業にて交流会を行う。		
4 SUWACO Labo、長野県との協定事業	「岡谷酸業太陽光発電所SUWACO Labo」還元金を活用し、三者協定による情報公開と自然エネルギー普及活動を推進	事業成果報告ならびに情報発信業務 自然エネルギー普及活動 (一般の人に親しみを持ってもらうような活動)	信州自然エネルギーマルシェを実施し、実行する。 ・参加人数が増えるような開催形態での企画を立てる ・事業成果発表会の開催 ・事業報告・分析データの情報公開、情報発信 ・自然エネルギー普及イベント等の開催(年3回) ・地域協議会等、各種イベントへの参加・支援 ・上記の事業を行うための事務局の維持	平島	11/4(日)開催に向けて広報準備中
5 信州ネット運営の基盤強化と会員参加による活動の活性化	財政基盤の確保 会員が主体で信州ネットを動かす	信州ネットを支える団体や個人を増やす 会員による自然エネルギー普及の取り組みの支援	専門部会の充実を図り、企業会員のメリットを拡大する。 情報会員から準会員への移動を目指す。		専門部会は、情報会員は加入できないので、会員資格を精査
	運営会議のありかたを見直し、専門部会やプロジェクトチームなど各活動の責任者参加によって信州ネットの運営力を高める会議体の構築を進める。 信州ネットの活動がより活性化するように、会議体、専門部会、プロジェクトチームなどの位置づけや役割を明確にし、必要に応じて規約を改定する。				

自然エネルギー信州ネット 月別収支管理表 <平成30年度>

<収入の部>

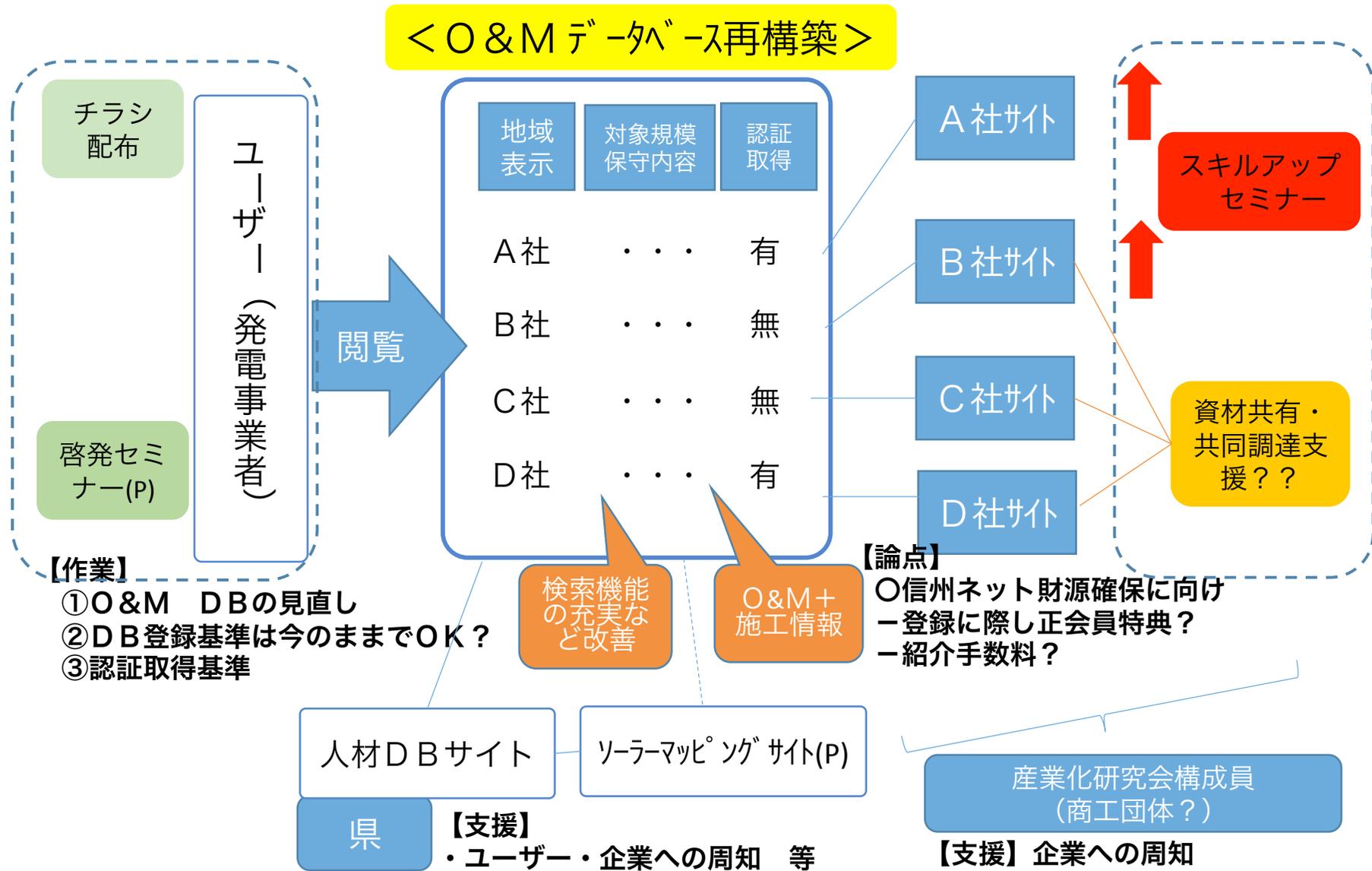
前月繰越金(A)

科目	計		予算	差額	
1 会費(企業) ¥10000	300,000		400,000	-100,000	会費(企業) ¥10000
2 会費(NPO) ¥6000	60,000				会費(NPO) ¥6000
3 会費(個人) ¥6000	144,000		333,333	-129,333	会費(個人) ¥6000
4 会費(準) ¥3000	36,000		66,667	-30,667	会費(準) ¥3000
5 会費(郵便) ¥1000	0	540,000	800,000	-260,000	会費(郵便) ¥1000
11 雑収入	14,945		20,000	-5,055	雑収入
13 利息	21		20	1	利息
6 SUWACO Labo	0		2,000,000	-2,000,000	SUWACO Labo
7 人材育成事業(補助金、協賛金)	0		200,000	-200,000	人材育成事業(補助金、協賛金)
8	0	554,966			
9 寄付金	1,200	556,166	100,000	-98,800	寄付金
10 特別会計から一般会計へ	1			1	特別会計から一般会計へ
12 国税還付金	0			0	国税還付金
短期借入れ	0			0	短期借入れ
一時借入れ	0			0	一時借入れ
未収金(H29分)	18,000			18,000	未収金(H29分)
収入計(B)	574,167		3,120,020	-2,545,853	収入計(B)

<支出の部>

科目	計				科目
1 謝金・人件費	9,000		100,000	-91,000	謝金・人件費
2 旅費交通費	26,370		80,000	-53,630	旅費交通費
3 借損料・役務費	848,640		1,705,000	-856,360	借損料・役務費
4 プリンターリース料	38,880		116,640	-77,760	プリンターリース料
5 家賃	100,000	138,880	240,000	-140,000	家賃
5 会場費	5,440		62,000	-56,560	会場費
6 消耗品費	14,666		200,000	-185,334	消耗品費
7 印刷製本費	0		70,000	-70,000	印刷製本費
8 通信運搬費(郵便)	13,161		30,000	-16,839	通信運搬費(郵便)
9 通信運搬費(ヤマト)	0		0	0	通信運搬費(ヤマト)
10 通信運搬費(電話)	26,140		50,000	-23,860	通信運搬費(電話)
11 通信運搬費(お名前com)	8,640		50,000	-41,360	通信運搬費(お名前com)
12 通信運搬費(OCN)	8,768	56,709	50,000	-41,232	通信運搬費(OCN)
13 会議費	0		0	0	会議費
14 光熱費	0		0	0	光熱費
15 雑費・手数料	1,188		30,000	-28,812	雑費・手数料
16 租税公課	0		75,000	-75,000	租税公課
17 税理士報酬	0		100,000	-100,000	税理士報酬
18 人材育成	0		0	0	人材育成
19 部会活動費	0	1,100,893	150,000	-150,000	部会活動費
20 一般会計から特別会計へ	2,000,000				一般会計から特別会計へ
21 短期借入れ分返済	0		0	0	短期借入れ分返済
未払金(H29分)	97,220				未払金(H29分)
支出計(C)	3,198,113		3,108,640	89,473	支出計(C)

太陽光O&Mウェブサイトの活用と関連取組（案）



自然エネ信州ネット太陽光O&M取組（案）（2018年度）

＜誰を対象に何をやるか？＞

対象		啓発活動・事業者 認証	研修・セミナー	備考
発電事業者	住宅用	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>＜チラシ＞</p> <p>【太陽光部会】</p> </div>	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>＜2019問題？＞</p> <p>【太陽光部会】</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ送付先（茅野先生研究室）
	低圧			
	高圧			
保守管理業者	住宅用	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>＜データベース＞ 再構築</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>＜リポート認証＞</p> <p>【合原理事？】</p> </div> <p>【太陽光部会】</p> </div>	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>＜スキルアップ＞</p> <p>10月目途 クリーンイク諏訪？ ネクストエナジー？</p> <p>【太陽光部会】</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップセミナー費用の県支援（要調整） ・ソーラーマッピングとの連携を見据えてデータベースに施工情報も
	低圧			
	高圧			